



入学式



オープンキャンパス2018



NIT, Gifu College

岐阜高専 だより

National Institute
of
Technology,
Gifu College

第134号

2018.9.30

独立行政法人 国立高等専門学校機構
岐阜工業高等専門学校

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑 2236-2

TEL : 058-320-1211

H P : <http://www.gifu-nct.ac.jp/>

CONTENTS

- 2 校長所感
- 3 教務主事・学生主事所感
- 4 新入生紹介
- 5 新入生紹介 留学生・専攻科生
研究室紹介
- 6 学級担任紹介
- 9 東海地区高専体育大会結果
- 10 全国高専体育大会結果
平成29年度学業成績優秀者賞表彰
- 11 公開講座・入試説明会
- 12 新任教職員紹介
- 13 教員・事務職員等人事異動
- 14 校外実習報告
- 15 海外インターンシップ
- 16 校内ニュース
- 18 公開講座紹介
- 19 学寮ニュース
- 20 クラブ紹介・同好会紹介
高専ロボコン出場チーム紹介



全国高専体育大会



公開講座

校長所感



岐阜高専のプロジェクトと課題

校長 伊藤 義人

平成28年4月に岐阜高専の校長に就任してから3年目に入っています。毎年の保護者見学会にも3回目の参加を先日して、最近の学校の状況を保護者の方々に直接お話ししました。就任1年目は、教職員、学生、保護者の皆さんの意見を聞いて、まず、寮の指導方法の改革に取り組みました。1年生の入寮生だけに適用されていた規則は全廃して、寮生全員に適用して、社会に出て役に立つような規則だけを残しました。改革から3年目に入り、ほぼ新規則が定着し、挨拶の仕方なども大幅に改善されました。まだ課題はありますが、おおむね健全で快適な寮生活が出来ていると思います。

3年目の今年度も全教員の研究室を訪れて、先生方の自己評価と他者評価を基に、現在抱えている課題や運営上の改善点の提案を伺いました。高専を取り巻く環境の厳しさは相変わらずです。

実施中のプロジェクトや岐阜高専の課題を以下に示します。

1) 高専4.0イニシアティブ

高専4.0イニシアティブは、昨年度「地域に根ざした次世代を担う課題解決型グローバル人材育成事業」が採択され、今年度もその継続が認められ、昨年度と同じような事業費が来ています。また、新規事業として、「コンピテンシーを高めやり抜く力 (Grit) を育む高専キャリア教育」を申請して、先日審査を受け、これも採択されました。2年続けて採択された国立高専は、上位1/3だけでした。第4期中期目標・中期計画に向けて、岐阜高専の強みを活かして、その高度化と個性化をはかっていきたいと思えます。

2) 快適で健全な寮生活の保証

冒頭で書きましたように、1年生だけに適用されていた寮内のルールを全廃して、全ての寮生に適用されるルールだけを設定して、より快適で健全な学生生活を保証し、かなり安定してきました。寮生活の消灯時間は昨年度、深夜1時半から、1日8時間の睡眠を保証するため11時半にしましたが、お約束通り今年から11時にしました。勉強などの理由でやむを得ない状況のときは、消灯後、各階に設置されている談話室を利用してもよいのは昨年度と同じです。

3) グローバル高専事業と情報セキュリティ人材育成事業

高専機構からのグローバル高専の認定は、今年度も継続しており、予算措置も受けています。今年の3月にマレーシアに行き、また、5月の連休中にベトナムのハノイに行き、

昨年度に締結した交流協定に加え、2つの大学との交流協定を結んできました。7月2日にハノイで実施された、高専機構主催の高専フォーラムにも参加して参りました。

グローバル高専事業の中で計画している、10日間の米国シアトルへのインターンシップは50名を越える応募があり、36名の学生に絞りました。高専機構からも高く評価されていて、インターンシップ終了後の報告会に、参加を希望してきています。

また、岐阜高専は一昨年度から情報セキュリティ人材育成事業(準拠点校)に関しても、高専機構から続けて指定がありました。私は高専機構の情報戦略推進本部の副部門長(副CIO)と総合企画調整部門長の兼任も3年目になり、全国の高専情報戦略の推進をはかっています。

4) 全国高専フォーラム

昨年度の全国高専デザコン2017に引き続いて、8月20日(月)からの3日間で、全国高専フォーラムが岐阜高専が主管校となって開催されました。全国の高専の教職員などが1000人以上集まりました。交通の便なども考えて、会場として名古屋大学をお借りしました。効率的でかつ有意義なフォーラムにするため、計画からプログラム作成まで、これも全校体制で準備しました。高専機構等から高い評価を受けました。

5) 教育体制の整備方針

高専機構全体の人件費比率が高くなっており、その対応が新たな教育体制の整備方針として高専機構から各高専に求められています。ただし、第4期中期目標・中期計画が来年度か始まり、その予算構造がどのようになるか分かるのがもう少し時間がかかりますが、再度、検討を要請される可能性が高いです。

日本の高等教育は、社会に出て役に立たないという批判をよく受けますが、「高専教育の発見(岩波書店)」という本が出版され、その中でエビデンスをもって高専教育の歴史・現状を把握し、その有効性を検証しています。OECDが、2009年に出した報告書で、日本の大学教育について厳しい評価をしている反面、高専教育を高く評価しましたが、それに関する検証もしています。高専教育の多くの課題も掲げられており、将来の高専のあり方にも言及しており、大変参考になります。

教務主事・学生主事所感



キャリア教育・ キャリア支援

教務主事 熊崎 裕教

二刀流、三刀流で話題となっている MLB の大谷選手や高校野球の根尾選手には、どの種目でも活躍できそうなセンスが感じられます。実際、根尾選手は古川中学校時代、スキー（回転）で全国優勝しています。しかし、足が速く球技も簡単にこなしてしまうなど見るからに運動神経のいい人が必ずしも、アスリートとして活躍できるとは限らないようです。一方で、すべてに万能ではなくてもある特定の競技に適しているかどうかが重要であり、体育が得意でなくても諦める必要がないことを多くの選手が証明しています¹⁾。実際に「スポーツは苦手」というアスリートも少なくないようで、スキージャンプの伊藤有希選手や体操の白井健三選手もそのうちの一人と言われています¹⁾。伊藤選手自身も「体を動かすのが苦手で、できるまで人の何倍もかかる」と言っていますが、ジャンプでは、小学6年生のとき史上最年少で国際大会の表彰台に上がるなど¹⁾ 脚光を浴び、その後も日本代表として活躍していることは言うまでもありません。

昨年度、情報セキュリティ関係の会社を設立し、代表取締役を務めている本校卒業生が学生向けの講演会に来てくれました。本

校在学中には成績や課外活動でも目立った存在ではなかったのですが、大学の経済学部編入学した後、通信会社でシステム管理やコンサルティングを担当し、ITベンチャー企業で新事業の立ち上げに参画しました。その後、情報セキュリティの会社を立ち上げ、代表取締役役に就任し多忙な業務の屋台骨を支えています。講演会で彼は本校学生に「学生時代の成績が良くないと高度な仕事に就けないと思うか」と質問しました。学生の多くは挙手をしましたが、彼は自らの経験を踏まえそうではないことを説いてくれました。仕事にもスポーツと共通するところがあり、自分に適した仕事、分野に出会えるかどうか、それを見出せるかが重要であることを改めて認識しました。もともと、学生時代の成績によってその人の将来が決まるとは考えていませんが、その時点でやるべきこと、行うべき課題に真摯に取り組む必要性も指導しながら、学生個人の適性を考えさせる場としてのキャリア教育、キャリア支援を少しでも推進すべきだと思います。できれば、具体的な職業を示すだけでなく、学生一人一人が働く意義や目的も考えながら自分の生きがいとなる職業観を形成していく場を提供できれば最善です。本校では「"高専4.0" イニシアティブ」で採択された新規の提案事業「コンピテンシーを高めやり抜く力 (Grit) を育む高専キャリア教育」がその起点となることが期待できます。

参考文献

1) NumberWeb オリピックへの道 <http://number.bunshun.jp/articles/-/828995> 松原孝臣, (2017.10)



クラブ活動に 対する経費補助

学生主事 山本 浩貴

学生主事の業務は学生生活支援と学生指導を中心としていますが、その一つに課外活動、中でもクラブ活動関係の管理運営というものがあります。各クラブに於いては部長を中心とする学生達部員と顧問教員が話し合いの下に運営し、事務的な側面では事務職員、経費的な側面では教育後援会を象徴とする保護者の皆様の援助を受けて活動しているのが実態だと思います。

経費的側面として、多くのクラブは年度当初に所属する団体（各競技の協会、高体連・高文連等々）への加盟登録金・大会参加費を要し、大会の開催場所によっては旅費や宿泊費が生じます。現在、加盟登録金は教育後援会財源で全額補助、大会参加費は学生会費で年間15万円を上限としながら可能な範囲で補助（30年度は90%補助）、旅費は東海地区大会以上の規模の大会は後援会費と学生会費で全額補助、宿泊費は同じく後援会費と学生会費で1泊5,000円補助としています。これに加え後援会費からは顧問教員が休日に2時間以上のクラブ指導をする場合の指導費、宿直する場合の合宿指導費を支出いただいています。また学生会費では物品購入補助と称し、部活動に要する共有物品を買うための費用が過去の活躍の度合いに応じて分配されています。ただこの度合いに応じた分配の結果としてクラブ間の配分格差が大きくなったため、3年前に前年度の活躍に応じた増額を捻出する財源として前年度の配分総額が多いクラブほど高い割合で減額する措置を導入し、長い目で見て公平性が現れるような工夫を加えました。このようなクラブ活動援助が占める割合は、

教育後援会費・学生会費とも年間支出の60%強となります。

さて、活動が活発化して大会で結果を残せば更に上位の大会の参加権を得ることができます。一方で上位の大会に参加すれば、それだけ多くの参加費、旅費、宿泊費を要することになり支出額全体を増やすこととなります。また、先に書きましたように学生会費による大会参加費補助は年間15万円を上限としていますが、この措置は3年前の学生会役員が話し合い、当時70%弱補助されていた参加費を100%補助に向け強化することを目指し、同時に無条件に全額補助とすれば無制限に大会参加数を増やすクラブが出ることを想定し、当時の大会参加費申請額の最高値が15万円程度だったことを根拠に設定した上限値でした。しかし、その後3年が経過する中で大会参加費が当時の2.5倍以上に達したクラブもあり、該当クラブは上限設定措置に異議を呈しています。一方で、これまた上記に示したような物品購入補助額の格差を是正する措置も、ある程度の効果は出ていますが、3年では格差が劇的になくなったわけではなく、少なくとも体育系のクラブには一律同額の援助を行うべきであるという声も再び届いています。

熱心に活動し結果を出しているクラブほど、それに対する高水準の補助と、表彰を代表とする評価とを欲する傾向があると思います。クラブ活動は学校が学生に推奨している課外活動であり、一定の補助と評価が必要となることは疑いありません。一方でクラブ活動はあくまで課外活動であって、結果より過程に重点が置かれるべきであり、結果を出した団体に財源が支出される比重が高まる故にその他の団体への補助財源が枯渇する傾向への危惧を唱える声もあります。この立場によると、例えば上限を超えた参加費を自己負担するのは当然の措置であるということになります。

このような論争への対応策の一つとして学生会費の値上げという声が生じ、6月に実施された教育後援会保護者見学会においてはバス移動時の報告の中で、問題の所在についてお話しした次第です。できれば11月に実施される地区保護者懇談会においては、数値の経緯を示した資料を提示してより詳細な情報を提供したいと考えています。

新入生紹介

新しい環境での生活

機械工学科 第1学年 河合 剛毅

私は入学する前、高専という新しい環境に馴染んで友達を作ることができるかが不安でした。実際、入学当初のクラスはとても静かで、気軽に友達と話せる雰囲気ではありませんでした。しかし、1週間も経てば、授業で積極的に意見を言える明るいクラスになっていたのも、自然と友達もできました。一方、バドミントン部や寮については、慣れるまでが大変でした。入学当初、部活ではランニング等のきつい練習が多かったです。寮に帰ってからもゆっくりと過ごせる訳ではなく、ご飯や風呂などの時間管理の下で行動する必要がありました。しかし、慣れるにつれ、部活も寮生活も楽しいものになっていきました。これもコートや寮でいい仲間に出会えたからです。

3年生頃から勉強が難しくなると聞きます。しかし、今のうちから勉強の習慣を作ることができれば、上級生になってからも自由時間を確保できるはずですよ。私は勉強に、部活に、寮生活に、そして遊びにも全力で取り組んでいきます。

岐阜高専に入学して

電気情報工学科 第1学年 多賀 一平

僕がこの高専に入学した理由は、早いうちから専門的な知識を身につけることが出来ると思ったからです。

入学当初、とても自由な校風やクラスに馴染めるか不安でしたが、次第に校風にも慣れ気の合う友人も出来ました。授業は90分と中学の1限の長さの2倍近く、さらに内容がかなり難しいものですがクラスメイトと教えあいをしたりしてうまく理解することが出来ます。まだ1年生は専門科目の割合も低いので、一般科目を完璧にして学年が上がることに難しくなっていくという専門科目に備えたいです。

球技大会ではクラスで団結して学年優勝をすることが出来ました。クラスで初めてのイベントだったので良い思い出になったと思います。

今、勉強や友達関係と充実した高専生活が遅れていると感じているのでこれからも様々なことに挑戦して行きたいです。

岐阜高専に入学して

電子制御工学科 第1学年 青山 千尋

入学当初の私の本音をいわせてもらおうと、新しい生活を楽しむ気持ちよりも不安の方が大きかったです。中学とは違う自由な校風にとまどい、寮では共同生活の難しさを感じました。しかし、生活に慣れてくるにつれて、毎日学校へ行くのが楽しみになっていきました。クラスの人達は個性的な人も多くありますがすごく明るくて、勉強でわからない所をさくさくと快く教えてくれます。専門科目は難しいけれど、自分の興味のあることについて学べてとても楽しいです。

岐阜高専は、とても自由な学校です。自由だからこそ感じる自律の難しさもありますが、その中で生活していくことは、さらなる成長や個々の個性をのばすことにつながると感じています。先のことを考えればまだまだ不安もありますが、これから5年間、自分の未来のために頑張っていきたいと思っています。

岐阜高専に入学して

環境都市工学科 第1学年 高橋 圭太郎

僕は岐阜高専に合格し、実際に入学する前まで、新しい生活に胸をふくらませつつ、その環境に慣れていけるかなどの不安がありました。しかし、実際にクラスで生活してみると、気軽に話しかけてくれる子がいたり、授業を先生がわかりやすく行ってくださったりしてとても安心しました。しかし、岐阜高専は自分で責任をもって行動する機会が多く、勉強なども自分で進んで行わなければいけません。部活の後に勉強するのは少し辛いものがありますが、みんなも同じ状況なのだと考えると少しだけやる気も出てきます。また、誰かに頼るのではなく、自分で自分の行動を決める、という機会がとても増えたので、自立して生活を送っていく力が身につくと思います。このように、岐阜高専に入学して、自分の力になるものが多く得られると感じたので、5年間同じクラスの子達と高め合いつつ、勉強と部活、その他日常生活など、全てが充実した生活を目指して日々努力していきます。

新しい場所で

建築学科 第1学年 國分 桜

私が岐阜高専に入学したいと思ったきっかけは、母に勧められた事です。私は海外の建築物が好きで、岐阜高専で行われているグローバル高専プロジェクトにとっても惹かれて受験することを決めました。

入学当初は、慣れない寮生活や90分の授業など大変なことがたくさんありました。部活動も中学でやっていた部活ではなく別の部活に入りました。これは学生生活が5年間あるからこそ出来たことだと思います。入学してから3ヶ月が経ち、寮生活では楽しむことができるようになり、勉強で分からないことがあればいつでも教え合うことが出来て、寮に入って良かったと思っています。私は数学が苦手な、高専の数学の進むスピードは早いだろうと覚悟していましたが、やはり学校の授業だけではついていくのは難しく、数学の復習をしっかりとやるようにしています。これから、5年で卒業することを目標に頑張っていきたいです。

新入生紹介 留学生・専攻科生

岐阜高専に入学して

建築学科 第3学年 ロット

カンボジア留学生のロットです。岐阜高専に入学する前に、1年間東京日本語教育センターで日本語を勉強していました。私は建築学科に在籍しています。日本に来て初めて1人暮らしを始めました。1人で生活するのは不安でした。高専に入学したばかりの時は、いろいろ心配なことがありましたが、先生方、先輩方、チューターや友達などが助けてくれたおかげで、3ヶ月を過ごした今は、授業での日本語の専門用語、ことば、ルールなどに慣れるようになりました。

留学生には、建築学基礎演習の授業があるので、何か授業内容で分からないことがあったら、先生方に聞くことができます。そのため、先生と授業を通じて信頼関係をつくることができます。本当に安心しました。これからも、私は一生懸命勉強したいと思います。

専攻科に入学して

先端融合開発専攻 1年次 海老澤 颯



茨城高専から編入試験を失敗してここに来ました。

同級生が社会に出て一人前に働き、大学に編入して高専よりも規模の大きな新しい環境で勉強をしている今日この頃、卒研を経験した高専生にとって大学の学部と修士の狭間のような時間を過ごしています。焦りを感じつつも岐阜での毎日はとても満足していますが、「専攻科に入学して」というテーマで原稿を書いていると、過去の何に対して向けているのか、自分でもわからない後悔が浮かび上がってきます。テーマの結言は「2年後、専攻科に来たおかげで成功できたと、編入の失敗を笑い飛ばしたい」に決まったものの、間に字数を埋めるはずの過程が今の所まだ曖昧なので、とりあえず、今から英語やります。

研究室紹介

コンピューターで原子核をつつく

一般科目(自然) 渡邊 慎

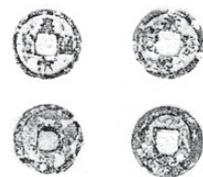
「私はコンピューターで原子核をつついていきます。」…と言ってもよくわかりませんよね? 「そもそも原子核って何?」という方も多いのではないかと思います。原子核とは、陽子と中性子でできた複合粒子のことです。原子核がどんな粒子かといえば、それは固体のような(密度が一定で詰まっている)、液体のような(お互いに協力して変形や振動をする)、そして気体のような(互いにぶつからずに飛び回る)感じですが、この何とも奇妙な原子核の性質を理解することが我々の研究目的の1つなのですが、原子核は物凄く小さく($\sim 10^{-15}m$)、直接見ることはできません。実際には、既知の原子核を目的の原子核にぶつけ、その時に放出される粒子や光を観測します。この“つつき具合”によっては、原子核が変形したり、ブヨブヨしたり、時には何も起きなかったりします。私は理論核物理学者なので、実際に実験をする代わりに、コンピューター上でそれを実現します。大抵の場合、それは実験を再現しない(=理論が悪い)のですが、そこにこそロマンがあります。私の方こそ、原子核に心をつつかれているのかもしれない。

中世のお金事情とは?

一般科目(人文) 小早川 裕悟

本研究室では、中世から中近世(鎌倉時代末期~江戸時代初期)にかけて、日本全国で使用されていた貨幣に関する研究を行っています。現在とは異なり、当時の貨幣は、中国でつくられたものを使用し、日本でつくられた貨幣は悪銭(偽銭)として扱われていました。さらに、貨幣流通についても、西日本の都市部では悪銭を排除していましたが、北陸地方では中国で製造された質の良い精銭と悪銭を混ぜ、東北地方では貨幣のほとんどに悪銭を使用していたなど、地方毎の差異が非常に大きい状況下であり、この差異に着目した研究に取り組んでいます。

この地方毎の通貨事情を明らかにするために、一般的な歴史研究の手法である文献史料の分析に加え、遺跡から発掘された銭貨である出土銭貨の実地調査や銭貨そのものの成分分析を行う考古学的手法を採用し、従来の研究の枠組みにとらわれない幅広い観点から貨幣史を解明できるよう努めています。



日本製造の偽銭(福井県一乗谷朝倉氏遺跡第52次調査出土銭)

学級担任紹介 (第1学年)



機械工学科 第1学年担任 渡邊 慎

●担当科目 物理、化学 ●趣味 スポーツ、読書、議論

●担任としての抱負、その他

教員の仕事は多種多様で、学生1人1人とじっくり関わらずに歯がゆい思いをすることがしばしばあります。しかしながら、その中で何ができるのか必死に探し求めることで、教育の本質が見えてくるものだと信じています。担任としてすべきことは、クラスの学生1人1人を管理することではなく、「自立」という理念を普段から示しつつ、集団を見守ることだと考えています。「小さな変化を見逃さないこと」これはクラスやサッカー部といった集団のダイナミクスを見ると、私が心に留めていることです。



電気情報工学科 第1学年担任 中島 泉

●担当科目 数学 ●趣味 文庫本等の蒐集とその歴史を調べること、音楽（懐メロとクラシック）、囲碁

●担任としての抱負、その他

新入生の皆さんは、これから勉学に励む意欲に溢れていると思います。その気持ちを大切にしてください。怠けようと思えばいくらでも怠けられますが、怠けると進級できなくなります。私たち教員は勉強しようとする学生を手助けすることは勿論、やる気のない学生に学問に興味を持って勉強する気になるよう努力しています。

悩み事があったら些細なことでも相談に来てください。一緒に解決を目指しましょう。一人でも多くの学生が五年後に笑顔で卒業できるよう願っています。



電子制御工学科 第1学年担任 宮口 典之

●担当科目 国語 ●趣味 なし

●担任としての抱負、その他

学生諸君にとっては、長くもあり短くもある5年間ですが、その滑り出しは、上々といってよいかと思います。

前回担任をした時にも言いましたが、学生諸君には「自律」ということを自覚して欲しいと願っています。思い通りにならないことも多く、いろいろ大変でしょうが、自分を大切にしていって前進する姿を期待しています。



環境都市工学科 第1学年担任 佐竹 直喜

●担当科目 英語（本年度は1、2年生英語A） ●趣味 野球観戦、DVD鑑賞

●担任としての抱負、その他

高校教員時代を含めると、6回目の担任になります。高校教員時代と同様、朝から顔を出し、ホームルーム・特活・清掃などで学生の様子を見ながら指導しています。今回のクラスも意識の高さ、クラスメイト同士で高めあえる雰囲気強く感じています。入学の日から同じ話をしてきましたが、今回のクラスにも「人としての成長」を目指してがんばってほしいと思います。特に低学年のうちは「高校生がすべきことでできていること+高専生にしかない魅力・専門性・人間性」の基礎を固めることが大切です。高校生ができていないことはやれて当たり前にし、高専生にしか身に付けることのできない力をしっかり身につけていくための準備をしてほしいと思います。進路を決めるときは保護者の方とたくさん話をしたと思いますが、今高専に通わせていただけているということに常に感謝し、自分が今いる環境がどれだけ幸せかをかみしめながら日々過ごしてほしいと思います。



建築学科 第1学年担任 菅 菜穂美

●担当科目 物理 ●趣味 絵画制作・写真撮影

●担任としての抱負、その他

学級担任を担当するのは2回目となります。前回に引き続き、建築学科を受け持つことになりました。少し先を見通せるため、余裕をもって担任業務に当たることができそうですが、余裕を持ちすぎず失敗しないように気を付けたいと思います。クラスの学生達は高専生活にもすっかり慣れ、毎日元気に過ごしています。学生生活を通じ、個々の能力・長所を伸ばせるよう、また、多様な人々と協働できる力を身に付けるよう、様々な場面で動きかけたいと思います。

学級担任紹介 (第3学年)

機械工学科 第3学年担任 **宮藤 義孝**



- 担当科目** 機械工作法、機械工学実習、ものづくり入門
- 趣味** 旅行・スポーツ観戦
- 担任としての抱負、その他**

私は、人生は一人で走る駅伝と同じ、と考えております。今日を精一杯走って、明日の自分に「たすき」を渡す。意識しているいないにかかわらず、今日の自分がやってきたことを明日の自分が引き継いで、「たすき」を受け取って走る。その積み重ねが人生そのものだと思っています。そのとき、常に身近なゴール(目標)の意識を持つことが一番大切だと思います。3年生は、身体的にも精神的にも著しい成長を遂げて自己確立する年齢でもあり、挫折した時や自分を見失ったときも、深呼吸して一旦落ち着いて、自分なりのゴール(目標)に立ち向かってほしいと思います。

電気情報工学科 第3学年担任 **田島 孝治**



- 担当科目** 計算機アーキテクチャ、コンピュータネットワーク
- 趣味** コンピュータ全般(プログラミング・インターネット)、ボードゲーム
- 担任としての抱負、その他**

本校での勤務は今年で8年目、2回目の第3学年担任です。同じようにやっても同じ結果にならないのが担任業務だと思っていますので、前回の反省だけでなく、今のクラスの状況を踏まえながら頑張っていきたいと思っています。さて、私は純粋な情報関係の研究だけでなく、人文関係の研究を情報処理でサポートするような研究もやっています。今回は岐阜高専生のお名前を統計してみました。1,100人程度ですので偏りを避けるための名前の「漢字」だけに絞って集計してみました。結果は1位「大」78名、2位「太」77名と、この2字が飛び抜けて多いことが分かりました。2000年の名前付けランキングを見てみると2位が「翔太」、3位が「大輝」(高専の中だけでもこの名前は2位です。)ですので、概ね傾向通りなのではないでしょうか。私も2年前に子供が生まれ、どんな子に育ててほしいかを色々考えながら名前を付けました。みなさんの名前にもさまざまな思いが詰まっていると思います。第3学年は高専生活の一つの節目です。そろそろ進路のことも考えて、より「大」きな自分を目指し、根を「太」く持って、自分の好きなことを見つけてください。

電子制御工学科 第3学年担任 **遠藤 登**



- 担当科目** 情報処理、情報伝送工学、システム制御
- 趣味** ドライブ
- 担任としての抱負、その他**

3年生は高専5年間のちょうど中間です。高専生活にも慣れ、自由な時間が豊富でクラブ活動や学生会活動に多くの時間を費やすことができる時期です。クラブ活動等で積極的に活動することは貴重な経験になりますが、逆に課外活動にあまり積極的でない学生は時間を持て余すことにもなります。進路選択まで残り1年半程度です。

進学、就職のどちらを選択するにせよ、この時期にどこまで自分を磨き上げられるかが重要になります。

担任として学生に必要な情報を与え、考えさせ、決断させるよう1年間サポートできたらと考えています。

環境都市工学科 第3学年担任 **水野 剛規**



- 担当科目** 構造力学、設計製図
- 趣味** ドライブ、読書、音楽鑑賞
- 担任としての抱負、その他**

3年生、4年生、5年生と担任をし、気がつけば再び3年生の担任をすることになりました。3年前を振り返ると、初めての担任で当初は何をすればわからず、試行錯誤しながらクラス指導をしたことが思い出されます。同じクラスを卒業まで連続して受け持ったことで、3年生から高専生の出口まで一貫して見守ることができました。そうして思うのは、3年生は中間学年で中弛みしがちですが、将来を見据えた準備期間として重要な位置を占めるということです。そのため、今回の担任では、先を見据えた指導を心がけていきたいと考えています。

建築学科 第3学年担任 **櫻木 耕史**



- 担当科目** 建築計画、建築設計製図、建築法規など
- 趣味** 旅行
- 担任としての抱負、その他**

はじめての学級担任を務めます。自身が中年と呼ばれる年代になり、学生さんを、自分の学生時代を振り返りながら見えています。特にクラスで大切にしたいことは、「相手を認める」ことです。1人1人個性が違います。同じ人はいません。全く価値観の違う人でも相手の良いところを見つけて認めて欲しいと思っています。そうすることで、お互いが気持ちよく過ごすことができ、またこのことが集団で何かを作りあげるときの原動力になります。建築は1人でものを作ることができません。多くの人が関わって共働して建物ができあがっています。若いときは自分がとても大切で、自分と違う意見が奇異に写ります。でも、「個人の生活の場」をつくる建築学科の学生さんには、自分とは違う個性や意見を認められるような人になってくれるよう願っています。

学級担任紹介 (第4学年)

機械工学科 第4学年担任 **石丸 和博**



- 担当科目** 工業力学、熱力学Ⅰ・Ⅱ 他
- 趣味** スポーツ観戦
- 担任としての抱負、その他**

岐阜高専OBとして赴任し、早28年目。5度目の4年生の担任です。4年生は進路のことや将来のことを考えることで、精神的にも大きく成長する時期です。少しずつ大人に近づく中、「権利や自由」を主張するばかりでなく、「義務や責任」をしっかり果たせる人に成長して欲しいです。また、そう成長できるような指導(手助け)を、いろんな面からできればと思っています。

電気情報工学科 第4学年担任 **富田 睦雄**



- 担当科目** 電気機器、発変電工学、パワーエレクトロニクス、等
- 趣味** 妻、みるん(NMB48白間 美瑠さん)、モータ制御
- 担任としての抱負、その他**

4年生は、講義・実験・行事が増え忙しいですが、一番大事なことは、自分の進路、もっと言えば人生について考えることだと思います。私のような「22歳で県立工業高校教諭(公務員)になり、27歳で辞めて、なぜか受かった大学院から32歳で博士(工学)を頂き、本校に赴任できて、好きなモータの研究をして、34歳でなぜか妻と結婚できて、52歳の現在に至るまでラブラブ」という運だけで生きてきた人生は、決してお勧めしません。進路選択まで1年を切っていますが、じっくり考えましょう。私であれば、気軽に相談して下さい。

電子制御工学科 第4学年担任 **森口 博文**



- 担当科目** 応用数学A、B、C、D、Ⅱ、Ⅲ
- 趣味** スポーツ観戦(サッカー、ラグビー)、軽い運動、古代中世史関係
- 担任としての抱負、その他**

新学期になって3ヶ月を過ぎたこの時期、4年生は1年後には就職希望者の卒業後の進路がほぼ決定し、進学希望者の半数以上も決定し、より難しい大学編入学試験に臨んでいます。個々の学生が自分の卒業後の進路を(経験、学業など)客観的・(能力、動機、価値など)主観的側面を踏まえて主体的に決定できるように支援する担任でありたいと思います。学生には後日談で早期に計画し意識が高く結果も凄く感服もしますし、授業や休憩の自己中心的でもある様子に失望もしますが、良い方向に、と日々思索しています。

環境都市工学科 第4学年担任 **水野 和憲**



- 担当科目** 土質力学、基礎力学、基礎材料学
- 趣味** 野球観戦
- 担任としての抱負、その他**

6年ぶり3回目の4年担任で、学年主任を仰せつかっております。これまでの進路指導経験から進路選択において重要なことは、これまでの19年間の自分の歴史をふり返って、その結果、現在の(いま)自分はどのような人間なのか、自分の価値観や適性あるいは絶対譲れないことは何なのか、を客観的に問うことだと感じています。そして、それを実行するのはもちろん学生の皆さんであり、私はその手助けをしながら進路選択に自信を持たせたいと思います。4年生は様々な行事がありますが、楽しむぐらいいの気持ちと余裕を持って過ごして欲しいと願っています。

建築学科 第4学年担任 **清水 隆宏**



- 担当科目** 建築史、建築設計製図など
- 趣味** 建築鑑賞、パンダ鑑賞など
- 担任としての抱負、その他**

4年生の1年間は、大切なことがたくさんあります。これまでよりも多くかつ難易度の高い専門科目、夏休み中のインターンシップ(希望者)、高専祭での専門展、研修旅行、5年次に卒業研究を行う研究室の決定、そして何より進路の決断です。いずれも思い描いた通りの結果を得るには事前の準備が必須です。最大限の努力を求めます。「来年も4年生」とならないよう、授業で分からないことは教員や同級生にすぐに質問して理解する、設計課題は計画的に作業する、困ったことは担任などに相談する。こんな感じで日々を過ごしましょう。

東海地区高専体育大会結果

●第56回東海地区国立高等専門学校体育大会成績について

第56回東海地区国立高等専門学校体育大会を沼津工業高等専門学校が主管校として実施されました。本校の選手も各競技種目に参加し、日頃の練習成果を発揮しました。ラグビー・フットボール競技については、10月27日（土）に開催予定です。なお、各競技種目の成績は次のとおりです。

競技名	競技種目	成績	氏名	備考
陸上競技	学校対抗男子総合成績	2位		
	男子200m	2位	日置 智則（5 D）	
	男子400m	3位	日置 智則（5 D）	
	男子800m	2位	石田 健（4 A）	全国大会出場
	男子1500m	優勝	石田 健（4 A）	全国大会出場
	男子5000m	2位	諏訪 太陽（3 M）	
	男子110mH	優勝	野々垣慶真（2 M）	全国大会出場
	男子400mH	3位	高橋圭太朗（1 C）	
	男子4×400mR	2位	野々垣慶真（2 M） 日置 智則（5 D） 安江 友登（5 M） 蜂谷 敏志（5 C）	全国大会出場
	男子三段跳	優勝	蜂谷 敏志（5 C）	全国大会出場
	〃	3位	安江 大登（2 D）	
	男子円盤投	優勝	安江 歩夢（5 A）	全国大会出場
	〃	3位	江崎 信幸（4 A）	
	男子やり投	優勝	安江 歩夢（5 A）	全国大会出場
	学校対抗女子総合成績	優勝		
	女子200m	3位	長尾 里奈（3 A）	全国大会出場
	女子800m	優勝	佐藤 夕貴（3 C）	全国大会出場
	〃	2位	寺田 美希（5 A）	
	〃	3位	山崎 真梨（3 A）	
	女子3000m	優勝	寺田 美希（5 A）	全国大会出場
	〃	2位	山崎 真梨（3 A）	全国大会出場
	女子100mH	2位	堺 晴香（3 C）	全国大会出場
	女子4×100mR	2位	堺 晴香（3 C） 高木 瑞花（4 A） 塚 公香（5 C） 長尾 里奈（3 A）	全国大会出場
	女子走高跳	3位	高木 瑞花（4 A）	全国大会出場
	女子走幅跳	2位	塚 公香（5 C）	全国大会出場
	〃	3位	高木 瑞花（4 A）	
	女子砲丸投	優勝	古川 芽依（4 E）	全国大会出場
	女子やり投	優勝	古川 芽依（4 E）	全国大会出場
	〃	2位	夏目妃那子（3 A）	全国大会出場
	〃	3位	羽田 咲菜（1 C）	
サッカー		優勝		全国大会出場
硬式野球		2位		
ソフトテニス	男子団体	優勝		全国大会出場
	男子個人ダブルス	優勝	大志万龍之介（3 D） 松尾 和龍（2 C）	全国大会出場
バレーボール	男子	2位		
	女子	2位		
バスケットボール	男子	4位		
	女子	3位		
卓球	男子団体	4位		
	女子団体	2位		
	女子個人シングルス	2位	大野 友菜（3 A）	
	女子個人ダブルス	優勝	大野 友菜（3 A） 川崎 苑佳（2 C）	全国大会出場
柔道	〃	3位	諸橋 果歩（5 C） 大庭 梨子（5 A）	
	男子団体戦	優勝		全国大会出場
	勝抜団体試合	優勝		
	男子個人60kg級	優勝	山下 達也（4 M）	全国大会出場
	〃	2位	牟田 麗人（2 E）	
	〃	3位	奥村 泰大（4 C）	
	男子個人73kg級	優勝	加納 諒一（5 E）	全国大会出場
	〃	2位	渡邊 猛（4 A）	
	男子個人90kg級	優勝	牛丸 克幸（4 M）	全国大会出場
	〃	2位	日下部 完（4 E）	
男子個人90kg超級	優勝	松久 聖（4 M）	全国大会出場	
〃	2位	丹下 賢人（4 C）		

競技名	競技種目	成績	氏名	備考
剣道	男子団体戦	5位		
	男子勝抜戦	優勝		
	女子団体戦	3位		
水泳	女子個人戦	2位	田中 希（4 A）	
	学校対抗総合成績	優勝		
	学校対抗男子総合成績	優勝		
	学校対抗女子総合成績	3位		
	男子200m自由形	3位	伊藤 綾佑（2 A）	
	男子400m自由形	優勝	後藤 恭兵（1 A）	全国大会出場
	男子800m自由形	優勝	栗本 竜希（2 C）	全国大会出場
	〃	2位	松波真之介（2 M）	全国大会出場
	男子100m背泳ぎ	優勝	栗本 竜希（2 C）	全国大会出場
	〃	2位	本田 優希（5 D）	全国大会出場
	男子200m背泳ぎ	優勝	本田 優希（5 D）	全国大会出場
	〃	2位	本田 康成（1 A）	全国大会出場
	〃	3位	柳田 晃良（3 C）	
	男子100m平泳ぎ	優勝	水野 優希（5 D）	全国大会出場
	男子200m平泳ぎ	優勝	水野 優希（5 D）	全国大会出場（辞退）
	男子100mバタフライ	優勝	山本 凌（4 D）	全国大会出場
	〃	3位	宮脇 敦士（4 D）	
	男子200mバタフライ	2位	山本 凌（4 D）	全国大会出場（辞退）
	男子200m個人メドレー	2位	松波真之介（2 M）	全国大会出場
	男子400mフリーリレー	2位	祖父江晃也（3 D） 山本 凌（4 D） 栗本 竜希（2 C） 伊藤 綾佑（2 A）	
男子400mメドレーリレー	優勝	栗本 竜希（2 C） 水野 優希（5 D） 山本 凌（4 D） 祖父江晃也（3 D）	全国大会出場	
女子50m自由形	優勝	前田かれん（5 A）	全国大会出場	
女子100m自由形	優勝	前田かれん（5 A）	全国大会出場	
女子100m平泳ぎ	3位	田中 歩葉（2 C）		
女子200mメドレーリレー	3位	細川 貴子（4 A） 田中 歩葉（2 C） 前田かれん（5 A） 渡邊 凜（2 A）		
女子200mフリーリレー	3位	前田かれん（5 A） 田中 歩葉（2 C） 細川 貴子（4 A） 渡邊 凜（2 A）		
ハンドボール		3位		
テニス	男子団体	優勝		全国大会出場
	男子個人ダブルス	2位	伊藤 我空（4 E） 藤原 悠真（4 C）	
	〃	3位	林 誠也（4 D） 木村 拓夢（4 A）	
バドミントン	男子団体	優勝		全国大会出場
	男子個人シングルス	優勝	大里 深（2 A）	全国大会出場
	〃	2位	渡辺 聡史（4 M）	
	〃	3位	木村 千春（3 E）	
	男子個人ダブルス	優勝	木村 千春（3 E） 大里 深（2 A）	全国大会出場
	〃	2位	宮川 大和（4 C） 渡辺 聡史（4 M）	
	〃	3位	馬場 恵助（5 E） 中島 幸太（3 M）	
	女子団体	優勝		東海北陸地区代表決定戦敗退
	女子個人シングルス	優勝	大里 柚（5 A）	全国大会出場
	女子個人ダブルス	3位	大里 柚（5 A） 田口 七海（3 A）	
〃	3位	岩佐菜音歌（1 A） 田口 広美（1 A）		
ラグビーフットボール				10/27 東海地区大会

*個人種目については第3位以上を掲載

全国高専体育大会結果

●第53回全国高等専門学校体育大会成績について

第53回全国高等専門学校体育大会を北九州工業高等専門学校が主管校として実施されました。本校の選手も各競技種目に参加し、日頃の練習成果を発揮しました。なお、各競技種目の成績は次のとおりです。

競技名	競技種目	成績	氏名		
陸上競技	男子総合得点	6位			
	男子800m	4位	石田 健 (4A)		
	男子1500m	4位	石田 健 (4A)		
	男子110mH	7位	野々垣慶真 (2M)		
	男子4×100mR		4位	野々垣慶真 (2M) 三宅 悠暉 (5M) 日置 智則 (5D) 蜂谷 敏志 (5C)	
		男子4×400mR	決勝進出	三宅 悠暉 (5M) 安江 友登 (5M) 高橋 直人 (2M) 日置 智則 (5D)	
			男子三段跳	7位	蜂谷 敏志 (5C)
			男子円盤投	4位	安江 歩夢 (5A)
			男子やり投	優勝	安江 歩夢 (5A)
	女子総合得点	3位			
	女子200m		長尾 里奈 (3A)		
	女子800m	6位	佐藤 夕貴 (3C)		
	女子3000m	5位	山崎 真梨 (3A)		
	〃	7位	寺田 美希 (5A)		
	女子100mH		堺 晴香 (3C)		
	女子4×100mR	決勝進出	堺 晴香 (3C) 高木 瑞花 (4A) 堺 公香 (5C) 長尾 里奈 (3A)		
		女子走高跳	5位	高木 瑞花 (4A)	
		〃		長尾 里奈 (3A)	
		女子走幅跳	優勝	堺 公香 (5C)	
	女子砲丸投	8位	古川 芽依 (4E)		
女子やり投	優勝	古川 芽依 (4E)			
〃	6位	夏目妃那子 (3A)			
サッカー					
ソフトテニス	男子団体	3位			
	男子個人ダブルス		大志万龍之介 (3D) 松尾 和龍 (2C)		

競技名	競技種目	成績	氏名	
卓球	女子個人ダブルス	3位	大野 友菜 (3A) 川崎 苑佳 (2C)	
	男子団体戦	優勝		
柔道	男子個人60kg級	優勝	山下 達也 (4M)	
	男子個人73kg級	優勝	加納 諒一 (5E)	
	男子個人90kg級	優勝	牛丸 克幸 (4M)	
	男子個人90kg超級	優勝	松久 聖 (4M)	
	男子400m自由形		後藤 恭兵 (1A)	
水泳	男子800m自由形		栗本 竜希 (2C)	
	〃		松波真之介 (2M)	
	男子100m背泳ぎ		栗本 竜希 (2C)	
	〃		本田 優希 (5D)	
	男子200m背泳ぎ		本田 優希 (5D)	
	〃		本田 康成 (1A)	
	男子100m平泳ぎ		水野 優希 (5D)	
	男子100mバタフライ	6位	山本 凌 (4D)	
	男子200m個人メドレー		松波真之介 (2M)	
	男子400mメドレーリレー		柳田 晃良 (3C) 本田 優希 (5D) 宮脇 敦士 (4D) 祖父江晃也 (3D)	
		女子50m自由形	8位	前田かれん (5A)
		女子100m自由形		前田かれん (5A)
	テニス	男子団体		
		男子団体		
	バドミントン	男子個人シングルス		大里 湊 (2A)
男子個人ダブルス		3位	木村 千春 (3E) 大里 湊 (2A)	
女子個人シングルス			大里 柚 (5A)	

*成績結果は入賞（陸上競技・水泳は8位以上が入賞）のみ表記

平成29年度学業成績優秀者賞表彰

4月27日（金）平成29年度学業成績優秀者賞表彰式を本校にて開催しました。平成29年度に各学級において、最優秀の学業成績を修めた第2～5学年学生及び外国人留学生のうち最優秀学生1名を学業の範を示したことを讃え表彰しました。

学年	学科	氏名
2年	機械工学科	松原 大和
2年	電気情報工学科	長縄 一輝
2年	電子制御工学科	秋庭 正樹
2年	環境都市工学科	高橋 葉納
2年	建築学科	平工 樹
3年	機械工学科	松川 竜也
3年	機械工学科	吉田 有真
3年	電気情報工学科	大塚 恭平
3年	電子制御工学科	岩島 愛里
3年	環境都市工学科	二山 友美
3年	建築学科	井川実乃里

学年	学科	氏名
4年	機械工学科	中井 文慈
4年	電気情報工学科	木村 哲朗
4年	電子制御工学科	利根 悠司
4年	環境都市工学科	守谷 日菜
4年	建築学科	桐山日菜子
5年	機械工学科	野田 大智
5年	電気情報工学科	丹羽 拓実
5年	電子制御工学科	澤井 伸次
5年	環境都市工学科	諸橋 果歩
5年	建築学科	岩井 蛍
5年	建築学科	ヘング ソペアック

公開講座・入試説明会

平成30年度公開講座 一覧表

講座の名称	開催日	開催時間	受講対象	募集人員	総開設時間数	受講料	材料費	講座の概要
きのくにロボットコンテスト小学生部門	①平成30年 8月5日(日)	9:30~ 12:00	小学生	20	4.5	無料	無料	「全日本小中学生ロボット選手権」(小学生部門)の岐阜県代表決定戦を実施する。1回目は大会の課題説明とロボットキット組み立て講習会を行う。2回目は、参加者が作製したロボットによる競技を行い、県代表者を決定する。
	②平成30年 10月21日(日)	10:00~ 12:00						
きのくにロボットコンテスト中学生部門	①平成30年 8月5日(日)	9:30~ 15:30	中学生	20	7	無料	無料	「全日本小中学生ロボット選手権」(中学生部門)の岐阜県代表決定戦を実施する。1回目は大会の課題説明とロボットキット組み立て講習会を行う。2回目は、参加者が作製したロボットによる競技を行い、県代表者を決定する。
	②平成30年 10月21日(日)	13:30~ 15:30						
電子楽器を作ろう —マイコンを使った電子工作—	平成30年 8月5日(日)	10:00~ 16:00	小学校 5・6 年生 中学生	20	5	無料	1,000	マイコンと圧電スピーカーを用いて電子楽器を製作する。現在予定している楽器の種類は、弦の無い弦楽器や、息を吹きかける音のでるトロンボーン、たたくと光って音がなるドラムであるが、参加者のレベルや経験に合わせて、製作する楽器は選択できるようにする予定である。製作を通じて電子回路の知識とプログラミングの知識を身につけることができる予定であり、完成品も持って帰ることが可能である。
はじめての七宝焼き	平成30年 8月7日(火)	13:00~ 16:00	中学生 社会人	15	3	無料	無料	初心者を対象に、伝統工芸である七宝焼きを、オリジナルアクセサリーを作ることで体験してもらう講座。
すまいづくり入門(設計製図編)自分の理想のすまいを作ろう	平成30年 8月8日(水)	10:00~ 16:00	中学生 保護者 中学校 教諭	20	5	無料	無料	人々の生活の場所である「すまい」について、環境・構造・計画の3つの側面からの講義より、具体的に「すまい」を考える視点を学びます。これを活かして最後の演習の時間で、講師全員と参加者が協力して、「理想のすまい」の計画を図面に表現します。
すまいづくり入門(インテリア編)3Dプリンタで家具を作ろう	平成30年 8月9日(木)	10:00~ 16:00	中学生 保護者 中学校 教諭	20	5	無料	無料	人々の生活の場所である「すまい」について、インテリアの講義により具体的に「すまい」を考える視点を学びます。これを活かして、演習の時間では3DCGソフトと3Dプリンタを使って家具を作り、インテリアコーディネート体験を行います。
環境都市工学入門 —わたしたちの暮らしとエネルギーを考える—	平成30年 8月11日(土) ~12日(日)	9:30~ 17:00	小学校 4~6 年生 保護者 参加可	20	13	無料	無料	わたしたちの暮らしとエネルギーを考えると題し、夏休みの自由研究を2日間で終わらせる 講義：A エネルギーの確保、B 地球温暖化問題、C 多様なエネルギー源、D 省エネルギー等について義によって基礎知識を身につける。(保護者の聴講も可) 演習：経済産業省資源エネルギー庁募集のかへ新聞コンテストに応募(対象小学校4~6年生)の新聞作成(A3サイズ2枚)
LEDを使ったミニイルミネーションを作ろう	平成30年 9月9日(日)	9:30~ 12:00	中学生 (小学5・ 6年生対 応可)	10	2.5	無料	無料	青色が開発されてからLEDは、クリスマス・イルミネーションなどで多用され、様々な分野でも利用されている。この講座では、そのLEDに親しむ目的で、色々なLEDを組み合わせ、点滅する楽しいイルミネーションを作る。
電子回路の組み立てとロボットの製作	平成30年 9月29日(土)	10:00~ 16:00	中学生	20	6	無料	2,300	電子部品やブレッドボードを使って回路製作の基礎を教える。またフォトフレクターと呼ばれるセンサーを用い、白および黒色を判別する回路設計を行う。さらに、この回路を応用し、ライトレースロボットの作製を行う。ライトレースロボット作製後はミニ競技を実施し、製作したロボットの性能を競う。
「夢を地図に残す 環境都市工学入門」 ~モトスの地上絵をかこう~	平成30年 10月21日(日)	10:00~ 12:00	小学校 中学年 以上	15	2	無料	無料	地図に残る“モノ”をつくるときに欠かせない“測る”をテーマに、簡単な測量を体験していただきます。また、UAV(ドローン)やレーザーキャナなど最新の測量技術を紹介いたします。

入試説明会日程(平成31年度入試)

月 日	時 間	会 場 及 び 場 所	
6月16日(土)	13:30~15:30	岐阜工業高等専門学校(本巣市上真桑2236-2)	TEL (058) 320-1260
7月21日(土)		アイプラザ一宮(一宮市若竹町3-1-12)	TEL (0586) 77-6612
7月22日(日) ※下記参照	10:00~12:00	岐阜工業高等専門学校(本巣市上真桑2236-2)	TEL (058) 320-1260
	13:30~15:30		
8月5日(日)	13:30~15:30	彦根勤労福祉会館(彦根市大東町4-28)	TEL (0749) 23-4141
8月11日(土)		瑞浪市総合文化センター(瑞浪市土岐町7267-4)	TEL (0572) 68-5281
8月25日(土)		岐阜工業高等専門学校(本巣市上真桑2236-2)	TEL (058) 320-1260
12月2日(日)			

※7月22日は午前と午後の2回行いますが、対象は次のとおりです。

午前…岐阜地区(岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡)の中学校

午後…岐阜地区以外の中学校

なお、各会場とも説明する内容はほぼ同じです。ご都合のよい会場・開催日にお越しください。

新任教職員紹介



一般科目（人文） 小早川 裕悟

本年度4月1日付で一般科目（人文）に着任致しました。専門は経済学で、主に中近世期の貨幣経済史を研究しております。昨年度まで、石川県の大学や高専、高校にて社会科全般を担当しておりました。また、金融業界での勤務経験もあり、将来、技術者となる学生の皆様にこれまで培ってきた経験を還元できればと考えております。微力ではございますが、今後ともよろしく願い申し上げます。



電子制御工学科 小木曾 里樹

2018年3月に電子制御工学科へ着任しました。私自身も岐阜高専の卒業生で、大学編入などを経て母校の教育・研究活動に携わることができ嬉しく思います。学生のみなさんがこの環境を最大限に活用し成長できるよう、教員としてできる限りサポートしたいと考えています。教育・研究とも、学生のみなさんとともに考え、学び、お互いに成長していきたいと思っています。よろしく願いいたします。



建築学科 石川 あゆみ

3月1日付けで建築学科に着任いたしました。昨年度までみなさんと同じ、学生の立場でしたので、自分が「先生」と呼ばれることにまだ慣れずにいます。様々な物理的条件からなる空間のなかで、人が受容する感覚・印象に関わる研究しています。研究者としても教員としてもまだまだ未熟ですが、みなさんと一緒に成長していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。



事務部長 木林 透

4月1日付けで帯広畜産大学から事務部長として着任いたしました。今まで沖縄から北海道の大学等で主に教務・学生支援の仕事をしてきました。高専での仕事は初めてですが、「科学技術に夢を託し、人類愛に目覚め国際性豊かで情報化社会の最前線で活躍する技術者」を養成する岐阜高専に貢献したいと思っております。部屋は1号館2階西側階段の横にありますので、皆さん、気軽にのぞいてください。



総務課施設係長 古山 和典

平成30年4月1日付で岐阜大学施設環境部より総務課施設係長に着任致しました古山と申します。岐阜大学では、予算要求や施設マネジメント等企画に関する仕事や電気担当として新営や改修事に携わってきました。岐阜高専では、これまでの経験を生かし、良好な教育研究環境を構築し、少しでも岐阜高専の発展にお役に立てるよう尽力してまいりますので、よろしく願い致します。



契約係主任 青山 尚史

平成29年10月1日付けで岐阜大学から出向により総務課契約係に着任しました青山と申します。平成18年8月に岐阜大学に採用され、会計系、学務系、総務系と様々な業務を経験させていただきましたが、契約に特化した係には今回初めて着任しました。慣れない業務に加え、慣れない職場環境のため、岐阜高専の皆様にご迷惑をお掛けすることが多いと思っておりますが、どうぞよろしく願いいたします。



技術職員 青山 哲明

平成30年4月から機械工学科の技術職員に採用となりました青山です。私自身、平成26年度に岐阜高専を卒業したOBであり、在学している中で多くのことを学ぶことができました。この経験を活かし、学生にとって学校生活がより良いものになるような手助けや、卒業後の将来で役立つことを教えることができれば良いと思っています。

私は車とバイクが大好きなので興味がある方はぜひ話しかけて下さい！

校外実習報告

インターンシップを通して

機械工学科 第4学年 松原 早希

私は、川崎重工航空宇宙システムカンパニーのインターンシップに参加させて頂きました。航空機に興味があり、就職先としても気になっている企業です。岐阜工場では民間機・防衛機・宇宙関連機器を製造しています。私はそこで、切削加工部品の生産性向上を図る実習をしました。実際に使用する部品の加工ができ、貴重な体験ができました。また、工場見学を通して、社員の方の航空機愛と仕事を楽しむ様子が伝わり、良い印象ばかりが増えました。

インターンシップでは、実習生の殆どが大学院生であり、知識や学力の差を感じ不安になりました。しかし、高専生の強みとして加工技術の知識が多い事を同時に実感しました。そのため、この強みを生かせる職に就きたいと感じ、就職先選択に幅広い視野を持てるようになりとても良い経験となりました。

インターンシップに参加して

電気情報工学科 第4学年 橋本 翔吾

僕は、飛行機の業界に興味があり、JAL エンジニアリングの5日間のインターンシップに参加させていただきました。実際に企業の方が働く現場である滑走路の中や格納庫の中、工場を見学したり、実習を行ったり、企業の方の話を聞いて航空業界や会社のことについてより詳しく知ることができました。また、社会人として当たり前のことである礼儀や作法についても5日間ではありますが触れることができました。飛行機は安全な乗り物とされていますが一つのミスで大きな事故を引き起こしてしまいます。そのため企業の方たちはどのような現場においても責任感を持ち働いていることがひしひしと伝わってきました。その分、達成した時の達成感であったり、仕事の面白さを感じられるのだと思いました。

今回のインターンシップを通して仕事に対する考えがより深まったような気がします。インターンシップをで学んだことを今後の生活、就活に向けて生かしていきたいです。

インターンシップ報告

電子制御工学科 第4学年 加藤 一晴

夏休み中に出光興産北海道製油所とキャノン茨城県取手事業所での2つのインターンシップに参加できました。

製油所では、その運転や点検が主な業務で、現場では常に危険と隣合せて、安全対策が所々に張り巡らされていて、飲食店のアルバイトとは全く違った緊張感がとても印象的でした。

事業所では、身近なプリンターやカメラの仕組みを学習し、開発の仕事体験しました。チームで行うことが多いということで、実習内容はグループワークが大部分で、チームワークの大切さを学びました。

2つの会社は業務内容が全く違う会社でしたが、高専で学んだことは様々なところで活かされていました。

他高専生と関わられたのも楽しいことでした。また、福利厚生など、会社を選ぶ際の基準も比較することで知ることができ、今後の知識として役立つとてもいい経験になりました。

インターンシップで学んだこと

環境都市工学科 第4学年 若原 巧実

私は今夏、インターンシップで新日鐵住金株式会社 鹿島製鉄所に行きました。この会社に決めた理由は、先生や先輩にとっても刺激的なものを味わえると教えていただいたからです。製鉄所と聞くと汚いイメージを抱きましたが、いざ行ってみると、道路、鉄道、橋、護岸など様々なインフラ設備があり、まるで1つの都市のように感じて感動しました。製鉄所の土木の仕事の魅力は、自分たちで自分たちのモノをつくる（オーナーズエンジニアリング）ことです。今回その中で、補修移動式クレーンが橋を通行するときの計算、補修検討を体験させていただきました。コストをどうしたら最小限に抑えられるのか、補修案として正しいのか、など自分で一から考え、思考錯誤する点でとてもやりがいを感じられました。

今後、このインターンシップで培った知識や、社会人としての大切さを忘れず、学業に励んでいきたいと思います。

校外実習を終えて

建築学科 第4学年 川尾 萌

現在私は、高専で安全・安心な建物や都市を造るための技術を学んでいますが、校外実習ではそれらの中で快適に暮らすために必要不可欠な電力についても学びたいと考え、また、電力の安定供給によって人々が安心して暮らせる未来を作ることで社会貢献したいとの希望も持っており、中部電力のインターンシップに参加させていただきました。

電力を「安定・安全・安価」に供給するためにはどのようなことを心がけ、どのように働いていращやるのかを、先輩のお話を聞くことや実際の現場を見学させて頂くことで学びました。発電所を施工中の現場を見たり、実際に働いていращやる方の生の声を聞いたりしたことは、とても良い経験ができたと同時に、生活に欠かせない電力に携わる仕事することに改めて魅力を感じました。

また、「高専時代に何をしておくべきか」という質問をさせていただいた所、先輩方の答えとしては、「専門知識を身につける」「コミュニケーション能力を高める」「とにかく遊ぶ」という3つの答えを多くいただきました。インターンシップで学んだことを今後の学生生活に活かし、日々努力をしていきたいと思います。

海外インターンシップ

イギリスでのインターンシップ

先端融合開発専攻 1年次 大野 喬史

私はイギリス北部のダラムにある TYK Limited 様で3週間のインターンシップをさせていただきました。TYK は多治見市に本社をおき、主に製鉄に必要な耐火物の製造をしています。今回の実習では、製品に用いられている材料の荷重試験などを行う品質管理から、製品の仕上げや梱包作業など幅広く体験させていただきました。作業は現地の作業員と行うため、初めはイギリス人が話すスピードについていけず、コミュニケーションには苦労しました。しかし、現地の作業員の方々は親切で、よく陽気に話しかけてくれたり、聞き取れなかったときは身振り手振りを交えてゆっくり話してくれたりしたおかげで、次第に英語にも慣れ、英語でコミュニケーションをとることの楽しさが分かってきました。同時に、自身の英語力の低さを痛感し、英語学習への意欲向上の良い機会となりました。休日にはイギリスで勤務されている日本人の方々に、様々な観光地へ連れ出してもらったり、イギリスの食事や文化について紹介してもらったりと、楽しく、充実した3週間を過ごすことができました。

また、ダラムでの実習後、ロンドン、パリ、ベネチア、ローマを観光しました。各地1日程度の観光でしたが、各地の建造物、食事、人柄、気候等、新鮮なもののばかりで良い経験になりました。

最後に、このような貴重な体験をさせて下さった TYK の方々、海外インターンシップにあたり支援してくださった方々に感謝いたします。



海外インターンシップに参加して

先端融合開発専攻 1年次 久保田 勘太郎

今回の海外インターンシップは、様々な失敗に見舞われました。しかしそれと同じ位、大切な経験を得ることができました。

インターン先のバンドン工科大学 (ITB) は、敷地が広くエスニックで独特な建物でした。今回のインターンでは、英語で行われる通信プロトコルの授業を受けたり、現役生徒の研究に協力したりしました。今年から大学のインターンを担当する科が変更され、思うように予定が立てられず学習に支障をきたしてしまい、期中中までに研究の成果を上げることが出来ず、本来の目的は達成できませんでした。しかし、学生との意見の交流や分からない所を教えてもらうことで、英語でのコミュニケーションや知らない分野への理解が深まり、今回のインターンを有意義なものにすることが出来たと思います。

インドネシアの食文化は、濃い味付けや辛味が多く、苦手な人は体調を崩してしまうことがあると思います。ですが鳥や海鮮が豊富で独特の旨味があり、インドネシアの伝統料理は是非一度食べてみてほしいと思います。

インドネシアを観光するためには、とにかくインドネシア語を勉強するか、現地の人とコミュニケーションを取ることが大事だと感じました。基本的に情報はインドネシア語なので、目的地へ移動するのにも一苦労です。インドネシアではバイクタクシーが盛んなので、インターンを考えている人はこれについて調べておくと非常に便利だと思います。私は今回、ジョグジャカルタのポロブドゥール遺跡を見に行きました。この遺跡は綺麗に成形された石がパズルのように組み立てられており、建築としても非常に美しい寺院でした。おすすめです。



たのしかったマレーシア

先端融合開発専攻 1年次 高木 郁憲

私は21日間マレーシア第二の都市であるジョホールバルにあるマレーシア工科大学でインターンシップを行いました。マレーシアに行くのは初めてだったため、熱帯特有の暑さの心配を一番していましたが、実際にはそれほど暑くなく雨が一番悩まされました。また、マレーシア料理は汗が出るほど辛い食べ物ばかりで、辛い物が苦手な三人でマレーシアに行ったため辛い料理を探しては食べていました。マレーシアは人口のほとんどがイスラム教徒のため、町の至る所にモスク(礼拝堂)があり、女性はヒジャブという被り物をしている人が多く宗教的な面でも日本との違いを感じました。また、休日にはクアラランブールやランカウイ島を訪れ、マングローブの中でのカヤックなど普段できないような体験をしました。

大学での実習では、初めに大学の入学式に参加してから各研究室でそれぞれのプロジェクトに取り組みました。内容は、デザインプロセスというプロジェクトマネジメントの手法を用いて、現地のパイナップル農園に存在する様々な問題点の中から一つを抽出し、その問題に対する解決策をデザインするという研究を行いました。実習の最後にはプレゼンテーションを行い、現地の機械工学科1年生と教授の前での発表を行いました。

私は今回の実習で、海外で研究をすることを通して海外で働くことについてよく考えることが出来ました。特に、会話の全てが英語で行われ、研究内容についての会話では専門用語も多く理解できない部分も所々あり、自分の英語が不十分であると感じました。これからの高専生活では英語学習を継続的にを行い、実習で学んだことも研究に生かしていきたいと思います。



海外インターンシップ

ドイツ・ハノーファー大学での体験

先端融合開発専攻 1年次 筑間 弘樹

今回、私はドイツのハノーファー大学で3週間の実習をさせていただきました。

実習先は気象学の研究室で、実習では主に、アナログ式の気圧計や風速計、日射の計測器等、計器について様々なことを教えて頂きました。私の質問に対しても納得がいくまで丁寧に対応して頂け、とても知的好奇心を駆り立てられる体験となりました。他にも現在の気象データから雲の持つエネルギーを計算し、天気予測を行う方法、気流のシミュレーションを行い、都市計画に活かす研究など今まで知ることのなかった気象学の側面を知ることができました。

また、ハノーファーの名所、観光地ハンブルグなど、ドイツ旅行としても楽しめるよう様々な配慮をしていただきました。鉄道のシステム、ペットボトルの預かり金システムなど、日本と異なるシステムも多く、日本の現行のシステムについて考察する良い機会になりました。

一般的なスーパーなども含めてドイツは英語の通じるところが殆どで、簡単なコミュニケーションに困ることはありませんでした。それでも最初は英語での生活に抵抗がありましたが、ドイツの方々は親切な方が多く、意図が伝わるまで話に付き合ってくれたので次第に抵抗はなくなってきました。自分の英語力不足を痛感するとともに、大切なことは伝えようとする意志なのだと思いました。

最後に、海外インターンシップの機会を与えて下さった家族及び岐阜高専の皆様、並びに、実習期間中に面倒を見て下さったハノーファー大学の方々に深く感謝致します。



初の海外留学を終えて

先端融合開発専攻 1年次 玉田 一将

私はアメリカのアイオワ州にあるアイオワ大学へインターンシップに3週間行かせていただきました。生まれて初めての海外ということもあり、羽田からシカゴへの長距離飛行で「本当に日本から出たのこれ?」と思っていました。しかし、上空を飛んでいる飛行機から見える日本とは違うアメリカの街並みを見て「ほんとに日本じゃない」と自然に感じる事ができました。アメリカの街並みは、方眼紙のようにきれいに並び家や右側を走る車と広い道路が印象的でした。アメリカの風景に驚きつつ、飛行機から降りて空港につくとそこは私にとって異世界でした。自分と比べ大きい人、小さい人、恰幅のいい人、細めの人、肌の色が違う人で違った返す風景を見て驚きました。ここで「本当にここアメリカで3週間も生活できるのだろうか」と大きな不安に襲われたことを今でも鮮明に覚えています。この

予感的中して、初めの1週間は大変でした。大学には日本人はほとんどいないので、必然的に英語での会話を迫られます。お店のレジで店員が何を言っているのか私には全く分からず（推測でしかありませんが）たぶん、「レシートはありますか?」と聞かれて、何を言われたか確証を持っていない私は無言で首をかしげることしかできませんでした。きっと迷惑な客だったのだろうと思います。そんな苦労もありましたが、少しずつ英語にも慣れ、大学では私の専門分野である人口知能の授業を見学させていただきました。また、幸運にも人工知能の研究をしている研究者と1対1で講義してもらおうという貴重な経験もさせていただきました。優しい現地の住民と大学の関係者に助けていただいて、貴重な時間を過ごすことができました。お世話になったアイオワ大学の関係者と留学するために準備を手伝ってくださった高専の先生たちに感謝いたします。



校内ニュース

平成31年度編入学者選抜検査

平成31年度編入学者選抜検査を次のとおり実施しました。

願書受付：平成30年7月30日(月)～平成30年8月1日(水)

検査日：平成30年8月23日(木)

検査科目：数学、英語、専門科目、面接

検査会場：本校

合格発表：平成30年8月28日(火)

区分	志願者数	受検者数	合格者数
建築学科	3	3	1
合計	3	3	1

※機械工学科、電気情報工学科、電子制御工学科、環境都市工学科は、募集なし

平成30年度科学研究費助成事業

(学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金) 採択件数

	基盤研究 (C)	挑戦的 研究(萌芽)	若手研究 (B)	若手 研究	奨励 研究	合計
継続	11	1	3	0	0	15
新規	5	0	0	3	2	10

第1学年校内研修

第1学年主任 菅 菜穂美

高専教育の特徴を理解し、学生生活に関するルールを学ぶことを目的として、平成30年4月9日(月)に校内研修を実施しました。内容は ①教務主事の話 ②学生主事の話 ③事務手続きについて ④学生相談室について ⑤学内施設利用について、です。教務主事からは成績や進級要件等についての説明をしていただきました。学生主事からは懲戒・表彰、交通安全・校内自転車利用についての注意、盗難防止、SNS利用時の注意等についてお話していただきました。学生相談室長からは相談室の紹介と利用方法についての説明を、また、カウンセラーさんからはご挨拶をいただきました。

進級要件の説明に緊張が走る場面もあり、カウンセラー

校内ニュース

さんの話で和やかになる場面もあり、“立派な技術者に成長しよう”という主事の激励もあり、高専生活の縮図のような、有意義な研修となりました。

サークル活動リーダー研修会

学生主事補佐 **中谷 淳**

岐阜高専の全課外活動団体(部・同好会)の代表者とマネージャを対象としたサークル活動リーダー研修会が5月16日(水) Ⅲ限終了後に図書館多目的ホールで開催されました。本年度は部26団体、および同好会6団体(欠席1団体)が参加しました。

研修会では、学生会長から課外活動に対する説明がなされた後、学生会担当の学生会議委員から予算配分案の決め方に関する説明がなされるとともに、学生会会計局長から各団体への予算配分案が提示され、全ての団体から了承されました。引き続き、学生主事補佐から「課外活動の手引き」に基づき、課外活動の在り方、アルコールハラスメント防止について説明がなされました。

研修会終了後には、本校の安全衛生委員会が主催する熱中症予防講習会が開催され、課外活動団体のみならず顧問教員を含む教職員が、大塚製薬の派遣講師から暑い夏場の課外活動を事故無く乗り切るための水分補給や体調管理、そして万が一の対処法について学びました。

献血活動

学生会議委員 **上原 義己**

学校の社会貢献活動の一環として毎年2回に亘り実施されている献血ですが、本年度1回目の献血活動が5月21日(月)に実施されました。今回は受付者数65名のうち、実際に献血した人は60名(内訳400ml:41名、200ml:19名)でした。また、周知の方法としまして、昨年度と同様に日本赤十字社から学校へご提供頂いているポスターを各教室に掲示しました。第2回の実施日は、10月27日(土)の高専祭公開日に実施予定です。本活動の意義をより多くの方にご理解いただける機会であると考えておりますので、引き続き、ご協力を賜りますよう、よろしくご願ひ申し上げます。

岐阜高専のMSリーダーズ

学生会議委員 **上原 義己**

MSリーダーズ活動とは、岐阜県警察による少年警察ボランティアの一環として行われている高校生が自発的に取り組む「生徒の生徒による生徒のための非行防止・規範意識啓発活動」です。本校においても1年生から5年生までの学生が参加し、学校周辺の清掃活動等を中心に活動しています。

本年度の登録者数は110名で、学生会役員、各クラスの評議員と風紀局員および有志の学生が登録しています。4月25日(水)に行った清掃活動では、風紀局長を中心とした学生会役員の指揮の下、参加学生(合計90名)が学科ごとに5つの班に分かれて、学校周辺道路のゴミ拾いを行いました。

オープンキャンパス2018

教務会議委員 **小栗 久和**

8月4日(土)に、平成30年度の本校オープンキャンパスが開催されました。受験を控えた中学生や保護者の皆様に、入試説明・学科催し物等を通じて、本校の実態・魅力を紹介し、本校を進路の選択肢の一つに加えて頂く事を目的として、毎年開催しております。

厳しい暑さに関わらず、本年度も大変多くの方々にご参加頂く事が出来ました。参加者数は中学生583名、保護者707名、中学校の先生7名の合計1297名で、昨年に比べ268名の増加となりました。

催し物内容は、例年通り、入試説明、模擬授業、各学科紹介(実験・デモ等)、ロボットコンロボットのデモ等でしたが、5年生を中心とした学生諸君が、各部署で、分かりやすくさわやかに専門内容・学校の状況等を説明してくれ、アンケート調査でも、本校学生に高い評価とお褒めの言葉を頂きました。学生の育成が最重要である本校にとって、何よりも嬉しいことです。

広報活動のメイン行事として来年度も引き続き開催して参りますので、高専祭と併せて、お知り合いに一声掛けて頂くなど、ご協力を賜りますよう、よろしくご願ひ申し上げます。

今年の岐阜高専 AP の取り組み

教育 AP 推進室長 **所 哲郎**

岐阜高専は外部資金として獲得した本年度の AP 予算で次のことを推進します。学生諸君はもちろん教職員各位の主體的な活動を期待しています。

- ① 全学共通のアカデミックコモンズなど高専教育の ICT 化を更に推進します。
- ② 4 学年全学生に「ブログ」を実施し、キャリア育成をサポートします。
- ③ リモートデスクトップで「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」「どこまでも」の ICT 活用教育環境を完成させます。どこからでも情報処理センターの環境が使えます。
- ④ 「数学」と「プログラミング」の教育を支援します。IoT やインダストリー4.0 へ向けた、今後の学修の要です。
- ⑤ 本校 LMS の「情報セキュリティ」や「企業技術者いち押し課題」など、自己受講申請型の学修支援コンテンツを全学生に開放します。
- ⑥ 実践技術単位ポイントの自己申請を進めます。学生個々で自身の学修成果を蓄積し、可視化するポートフォリオへと進化させます。

以上の他にも、本校の教育改革を推進し可視化しますので、改善提案等を是非下記へお知らせ下さい。

<http://www.gifu-nct.ac.jp/AP2014/>



リモートデスクトップ利用希望者は図書館まで

公開講座紹介

機械工学科公開講座

機械工学科 山田 実、河野 託也、高橋 憲吾

8月5日(日)に機械工学科公開講座として小学生・中学生対象にロボット組み立て講習会を開催しました。これは全日本小中学生ロボット選手権の岐阜地区予選会の一環として行なわれ、これで8回目になります。小学生部門には28名の応募があり、抽選により23名が参加しました。中学生部門には15名の参加がありました。和歌山で行なわれる本選出場をかけた予選会は10月21日(日)に本校で開催されます。

なお、付き添いの保護者向けに機械工学科内の施設見学を行ないました。



公開講座「電子楽器を作ろう」

電気情報工学科 田島孝治、白木 英二

電気情報工学科の公開講座は、マイコンを使った電子楽器の製作である。参加者はピアノ、ドラム、ギターの種類から好きな楽器を選び、本校3年生、4年生の補助の下、4時間余りをかけて、オリジナルの楽器を製作した。参加した小学生の中にはすでにプログラムの経験がある子もあり、補助学生を含め、能力の高さに驚かされることもあった。また、中学生は進路に関する話を本校学生とする時間もあり、オリジナルの楽器を作るだけでなく、参加者間にも多くの交流が生まれた。



公開講座

「環境都市工学入門

—わたしたちのくらしとエネルギーを考える—

環境都市工学科 吉村 優治

岐阜高専は、経済産業省資源エネルギー庁からエネルギー教育モデル校(高等学校)に認定されており、平成28~30年の3年間、「持続可能な環境負荷低減型社会の実現を目指す人材育成と啓発活動による地域住民へのエネルギー教育」に取り組んできました。啓発活動による地域住民へのエネルギー教育の集大成として、小学4~6年生を対象に、「わたしたちのくらしとエネルギーを考える」と題した公開講座を実施しました。(株)中部電力、戸田建設(株)のご協力もあり、実験や寸劇を交えた講座で、2日目には各小学校へ提出する「夏休みの自由研究」を兼ねた「かべ新聞」(経済産業省資源エネルギー庁募集のかべ新聞コンテストに応募予定)を作成しました。



浮体式洋上風力発電の模型作製(キット提供・作製指導:戸田建設(株))

公開講座

「すまいづくり入門・設計編」

建築学科 柴田 良一

今回の講座では、中学生を対象とした9名の参加により、8月8日(水)の10時~16時にかけて、4つの連続講座として開催しました。この講座は建築学科の授業を想定した3分野に対応して、環境:青木、構造:柴田、計画:今田らによる基礎的な解説のあとで、全講師が集合して、参加者が思い描くすまいを構想して、具体的な建築設計演習を行うものです。

参加者は講師の助言を受けながら、保護者の方とも相談しながら、思い思いのすまいを構想できました。



学寮ニュース

平成30年度前期寮生会役員名簿

前期寮生会役員はまず、4/4（水）の役員研修にて今年度の寮運営に関する議論を行ないました。その方針のもとに半年間の各寮運営、各種寮行事を取りまとめてきました。

役職名	学年	学科	氏名
寮長	5	C	中畑 列賀
副寮長	5	M	日比野輝也
書記長	5	D	木戸 俊佑
広報委員長	4	E	森 晴樹
会計委員長	5	A	柳田 大地
厚生委員長	5	A	水谷 嘉宏
文化委員長	4	C	佐々木洸弥
企画委員長	4	M	服部 右京
会計監査	4	E	橋本 凌
会計監査	4	A	酒匂 大輝
A寮総代	3	A	岩嶋 亮佑
B寮総代	3	A	山本 大翔
C寮総代	3	M	後藤 匠
D寮総代	5	D	山田 智博
第1女子寮総代	4	C	澁谷 真由
第2女子寮総代	5	A	寺田 美希
留学生寮総代	4	C	シャミン
選挙管理委員長	4	D	野々田崇大

寮生保護者懇談会

副校長（寮務主事） 麻草 淳

平成30年度寮生保護者懇談会は、5月19日（土）10時から本校図書館センター多目的ホールを主会場として開催されました。出席者は、保護者120名程と学校側から学校長、寮務主事、事務部長をはじめ寮務関係教職員計10名、寮生会役員8名でした。

懇談会は以下の内容で進行しました。

- 1) 合同懇談会（多目的ホール）
- 2) 寮棟別懇談会
男子寮寮（多目的ホール）
女子寮（ビデオルーム）
- 3) 昼食
- 4) 教育後援会総会

合同懇談会では学校長挨拶、寮務主事による運営方針と現状報告、入寮式以降の寮行事の様子等の報告の他、寮務係長から寄宿舎経費収支報告を行ないました。

全体会・寮棟別懇談会を通し、保護者の皆様から率直な御意見御提言をいただきました。今後の寮運営に反映させていきたいと思っております。

寮祭

副校長（寮務主事） 麻草 淳

寮の恒例行事である寮祭は、寮生会執行部を中心に5月11日（金）晩に演芸大会、12日（土）午前に餅つき、夕方からはBBQ、夜にはお楽しみ会などの行事を実施しました。

餅つきでは、数年ぶりに自分達でもち米を蒸すことにトライしました。また、BBQではたくさんの食材が用意され、皆お腹一杯まで食べることができたようです。さらにお楽しみ会では、5学年で構成されたチームで様々なゲームを深夜まで楽しみました。



餅つき



BBQ



お楽しみ会

寮での生活

環境都市工学科 第1学年 川浦 日向

寮という場所は、色々な地域から来た人がいて、最初は緊張と困惑の日々でしたが、今は寮の仲間たちと共に部活や勉強に切磋琢磨しています。時には辛い時もありますが、仲間同士が助け合いながら毎日を過ごしています。

また、寮ではたくさんの楽しいイベントもあり、そこでは先輩方とも友好的な関係になり、先輩方は勉強で分からないことがある時や、悩み事がある時も親身になって教えてくれるとても優しい先輩ばかりです。

このように寮で生活するという事は、心身共に強くなれる共同生活の場だと感じています。

寮生活で力を身に付ける

機械工学科 第1学年 松原 芽生

私は今年から雄志寮に入寮しました。入寮当初は洗濯や掃除など、不慣れな事ばかりで不安の中生活していました。ホームシックにもなりました。先輩への挨拶等、礼儀の面で指導されたこともありました。しかし、寮生活を送るにつれて洗濯や掃除もそこまで苦では無くなり、先輩方への礼儀も当たり前身につけて来たように感じます。

現在私達はまだ子供ですが、遅かれ早かれ独り立ちし、何らかの職に付くでしょう。寮に入る事で大人、社会人になった時に必要な、自分で生きていく力、社会人としてのマナーや礼儀が身につくと、私は思っています。

最初は不安で仕方ありませんでしたが、今は入寮して良かったと思っていますし、毎日楽しい高専生活を送る事が出来ています。

クラブ紹介・同好会紹介

卓球部

岐阜高専卓球部の紹介

機械工学科 第4学年 大塚 友貴

岐阜高専卓球部は、現在、男子部員17名、女子部員8名の合計25名で毎週月・火・水・金曜日と土曜日に活動しています。部活の練習メニューは基本的に自分達で考え、上手いかわからない技術などは先輩や仲間から教えてもらうなど、大会や試合でより多く勝てるように積極的に練習をしています。主に低学年はインターハイ予選や新人戦などの高体連の試合に向けて、高学年は年に一度開催される高専体育大会に向けて練習に励んでいます。高専体育大会は、男女全学年の部員が出場しており、団体戦は主将を中心としてチームで支えあって試合に臨んでいます。また、高専体育大会の全国大会では女子ダブルスが2年連続で3位入賞も獲得しています。

卓球部の自分で何をすべきか考える練習スタイルは、社会で自立していくための練習にもなると考えています。

水泳部

競泳競技と近年の水泳部の活躍

水泳部主顧問 小川 信之

水泳は、自身の泳力を磨くことで心身を鍛錬します。競泳では、泳力をタイムで競うため、自分自身の自己ベスト記録との闘いがあると共に、他者との競争があります。また、リレー種目では、仲間との連携により競技がなされ、個人種目の競技とは趣がことなり、仲間との一体感が伴っています。各個人種目の成績の点数合計により団体としての総合成績も決まるため、競泳の競技では、自分との闘い、仲間との連携、団体としての団結力といった様々な面を有しています。健康面でも、水泳は、全身の筋肉と総合的な身体能力を育む運動であり、浮力で重力の負担が軽減されることで膝等への過度な負荷は弱まります。

近年、岐阜工業高等専門学校の水泳部は、皆様の御支援・応援のおかげもあり、東海地区高等専門学校体育大会等の種々の大会において優秀な成績を得ることができております。個々の自己ベストを更新すること等の成果として、個人種目での優秀な成績、その延長として仲間との連携によるリレー種目での優秀な成績、さらには、昨年度に引き続き、団体においても、東海地区高等専門学校体育大会において優勝を果たすことができました。

イラストレーション同好会

イラストレーション同好会の紹介

電気情報工学科 第4学年 中本 有紀

Hello Everyone.

僕は今、イギリスのバースにてこの記事を書いています。アメーバブログで yuuuu280 という名前でブログも書いているのでぜひ見てください ^^

ということでイラストレーション同好会の部長中本です。実は先日、評議会（クラスの代表が集まる会議）に行ったら同好会の解散が勝手に決まっていた、という夢を見ました（笑）

というのも今、部員が四人で二人が幽霊、二人が同学年なのにもかかわらず僕に敬語という悲しい状況です...（泣）まあしかし、こんな適当な部長が気まぐれに開く同好会で二人も来てくれるのはとてもうれしく、感謝しています。ここでお礼ときます（笑）

同好会なので部室はありませんが、深夜アニメみたいなイラスト好きな人、歓迎です！僕もめっちゃ好きです。

高専ロボコン出場チーム紹介

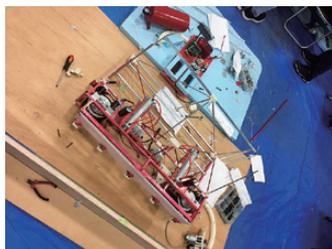
今年の競技ルールについて

ロボット研究会 顧問 田島 孝治

今年の高専ロボコンの競技テーマは「Bottle-Flip Café」です。ネット上で人気の「ボトルフリップ」というスゴ技にロボットが挑戦します。1チーム2台までのロボットが自陣の8つのテーブルに向かってペットボトルを投げてかっこよく立たせる競技です。試合時間は2分間で、手動で操作できるロボットと自動で動作するロボットがペアを組んで競技に挑みます。ペットボトルを投げて立てるといっても難しい課題ですが、「手動ロボット」はエリアが限られているため、8つすべてのテーブルにペットボトルを立てようとしたら、「自動ロボット」を活用する必要があることもより競技を難しくしています。

A チーム紹介 電子制御工学科 第4学年 原 優人

A チーム bython 3.x は、とにかく最速勝利を目指したチームです。最大限無駄を省き、すべてのテーブルにペットボトルを立て、競技時間終了を待たずに勝利（V ゴール）することが目標です。壁をガイドに高速移動する自動ロボットと、スタートゾーンから一歩も動かずに、ペットボトルを投げる2台のロボットで競技に挑みます。他チームは着実に置きに行くのに対し、難易度が高いペットボトルを投げて建てることにチャレンジします。チーム名の bython 3.x は、チームのサブリーダーである梅村君のニックネーム「バイソン」と最近流行しているプログラミング言語 Python を合わせた造語です。応援よろしくお祈りします。



A チームが製作中の自動ロボット

B チーム紹介 電子制御工学科 第3学年 西村 駿

岐阜高専 B チームのロボット名は ButLamb です。B チームは、極力テーブルに近づき1回で確実にペットボトルを置くという目標になっています。このチームの1番の見どころは、2台のロボットによる合体です。2台のロボットが合体をすると高さが約2.4mとなり迫力があるロボットとなっています。また、装飾にも力を入れており片方のロボットにはかわいらしい執事の羊がのっています。ぜひ、合体したかわいいロボットが自動でペットボトルを置きに行く姿をご覧ください。



B チームのマスコットキャラと製作中のロボット